

# 畜産茨城

第493号

令和3年11月30日



発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号  
公益社団法人 茨城県畜産協会  
電話 029(231)7501  
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>  
発行人／八木 岡 努

目次

令和3年度牛乳消費拡大事業 各種コンクール開催される…… 1	高病原性鳥インフルエンザ等の特定 家畜伝染病防疫演習に参加して…… 8
石川弥来氏(宥石川養鶏)が 農業経営士として認定されました… 2	畜産映像情報 がんばる!畜産!…… 9
クーラステーションにおけるバルク乳を 活用した牛ウイルス性下痢検査…… 3	令和3年9月市況………10
第45回茨城県畜産常陸牛枝肉共励会… 5	肉用子牛生産者補給金発動状況………10
『国や大学など、さまざまな機関と 連携して試験研究を行っています。』… 6	令和3年10月市況………11
	牛マルキン発動状況………11
	個人と農家をつなぐプラットフォーム「農HOW」…12

## 令和3年度牛乳消費拡大事業 各種コンクール開催される



ポスターコンクール最優秀賞《県知事賞》  
山口 貴文



審査員(料理)



審査の様子(ポスター)



オータムロール



ミルクだけのリゾット



審査の様子(料理)

### 茨城県牛乳普及協会

第41回「牛乳乳製品利用料理コンクール」を10月2日中川調理技術専門学校で開催しました。今回は31点の応募があり書類審査を通過した12作品を審査。例年は選考された本人が作品を調理しますが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大を考慮して、中川調理技術専門学校のスタッフがレシピを基に調理し、完成した料理を4人の審査員が試食をしながら、独創性や味、料理のしやすさなどの観点から審査をしました。審査委員長の中川学園料理教室代表の中川一恵さんは「今回も斬新で、工夫を凝らした良い作品が多かった。これからも、牛乳や乳製品を積極的に摂取する習慣を作ってもらいたい」との講評でした。

小中学生を対象にした「牛乳消費拡大事業ポスターコンクール」の審査会を10月11日に畜産会館で行いました。コロナ禍ではありましたが県内の小中学校から1285点の応募があり、最優秀賞1点優秀賞6点佳作45点を選出、審査に当たった元県美術教育研究部長の三好義章審査委員長からは「昨年よりも応募点数が増え、構図や色使いなどバラエティーに富んだ良い作品が多かった」との講評を頂きました。

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています



## 石川弥来氏(有)石川養鶏が農業経営士として認定されました

茨城県県央農林事務所

令和3年7月15日に小美玉市の養鶏農家である石川弥来氏(有)石川養鶏 代表取締役)が農業経営士として認定されました。石川氏は飼養羽数18,000羽と小規模ながらこだわりの卵を生産しており、地元で根強い人気を得ています。また、県養鶏協会の理事や茨城県農業研究クラブ連絡協議会の会長を歴任し、県の養鶏業のみならず農業の振興にも貢献されています。今回は石川氏のこれまでの生産、販売への取組や地域の農業振興における取組について紹介します。

### ○(有)石川養鶏における生産、販売の取組

現在農場で生産されている卵は鮮やかなオレンジ色が特徴で、臭みが少なく、生卵でも食べやすいと評判です。(有)石川養鶏では、地域の方に美味しい卵を食べてもらえるように、飼料と鮮度の管理を徹底してきました。

飼料にはパプリカを多く配合することで鮮やかなオレンジ色を引き出すとともに、良質な魚粉を適度に配合することで、臭みが少なく、かつコクのある味を作り上げています。



石川養鶏こだわりの卵

また、その日生まれた卵は当日中に集卵～配達まで行っています。これにより、新鮮な卵をそのまま味わうことができます。

こだわりの卵は、県内の5か所の直売所と農場協の作業所兼販売所で購入できますが、農場協の販売所では午前中に売り切れてしまう日も少なくありません。また、地域の飲食店や製菓店で使われており、地域に根付いたブランドになっています。

### ○地域の養鶏業や農業振興における取組

石川氏は採卵鶏経営の傍ら、小川農志会、小美玉農業青年クラブに所属し、地域のイベントに出店し、農産物を販売するなど地域の農業振興を図ってきました。また、茨城県農業研究クラブ連絡協議会、全国農業青年クラブ連絡協議会で会長や理事も歴任し、勉強会や先進的な取組の視察の企画、実施に取り組むなど、その活躍は地域に留まらないものとなっています。

養鶏業に関しては、小美玉市養鶏協会で理事として空港での農産物販売に取組み、県養鶏協会青年部でも副会長として定期的な勉強会を開催し、技術向上を図るなど養鶏振興にも余念がありません。

### ○農業経営士として

こだわりの卵を活かした採卵鶏経営に加えて、地域における農業及び養鶏振興の実績等も踏まえて、この度農業経営士として認定されました。新型コロナウイルスで人々の生活や消費傾向が変化する中であっても、生産技術の向上や地域の農業・養鶏業の振興に向けて弛まぬ努力を続けてきた経験を生かすことで、農業経営士としても更なる活躍が期待されます。



石川弥来氏

# クーラーステーションにおけるバルク乳を活用した牛ウイルス性下痢検査

茨城県県北家畜保健衛生所

## 目的

本県では、平成29年度から牛ウイルス性下痢（BVD）・粘膜病防疫対策ガイドラインに基づき、牛ウイルス性下痢ウイルス（BVDV）の持続感染（PI）牛を特定してとう汰するため、バルク乳を活用したBVDVのスクリーニング検査を実施しています。

## BVDのPI牛について

BVDVに感染した妊娠牛では、比較的初期の流産や小脳形成不全などが認められる死産の発生が増加し、受胎率の低下が問題となります（図1）。BVDVに感染した子牛では、肺炎や下痢などにより死亡率が増加します。PI牛とは、免疫力が発達していない時期（胎齢60～120日）の胎子がBVDV感染した場合に、出生後も抗体上昇が認められずに大量のウイルス

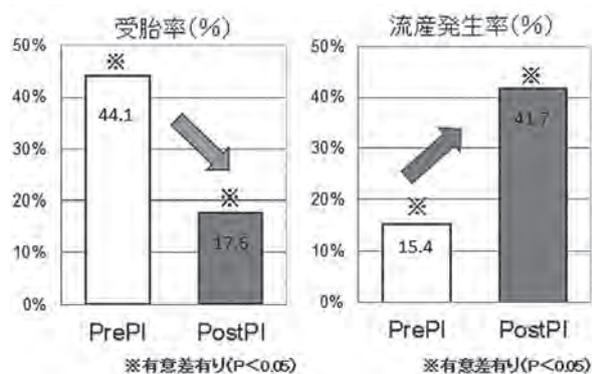


図1 PI牛出生後の受胎率と流産発生率



図2 6か月程度発育遅延を呈したPI牛

を排泄する牛のことで、牛群のBVDV感染源になります。PI牛は発育不良を呈することが多く（図2）、治療がないことから予後は不良で自主とう汰が最善の選択です。

## クーラーステーションにおけるバルク乳を活用した牛ウイルス性下痢検査

家畜保健衛生所では、県内酪農場のバルク乳を広くサンプリングするために、茨城県酪農業協同組合連合会と連携してクーラーステーションで保管されている農場バルク乳や集乳車合乳を検査材料として活用しています。

検査は、「農場バルク乳からのBVDV抗体検出」と「集乳車合乳からのBVDV遺伝子検出」を行います。BVDVの感染源になるPI牛が出生または導入されると、農場内の同居牛はBVDVに急性感染して抗体を保有し、乳汁中からも抗体が検出されます。そこで、バルク乳からBVDV抗体が検出された牛群ではPI牛の特定のための個体検査を実施します。また、搾乳期のPI牛が農場に存在する場合、農場バルク乳からBVDV遺伝子が検出されるため、まず、集乳車合乳をPCR法によってBVDV遺伝子検査を実施します。さらに、陽性となった集乳ルートについては、農場別バルク乳の遺伝子検査を実施してBVDV遺伝子陽性の農場を特定します。農場バルク乳からBVDV遺伝子が検出された搾乳牛群では、PI牛を特定のための個体検査を実施します。

## 結果（図3）

農場バルク乳からのBVDV抗体検出では、平成29年から令和3年までの5年間で、76農場が抗体陽性となりましたが、令和3年度はピーク時の6分の1となり、抗体陽性農場数は年々減少する傾向がみられています。抗体のみが陽性となった76農場のうち7農場からPI牛10頭を特定し、これらのPI牛は全て子牛又は育成牛でした。

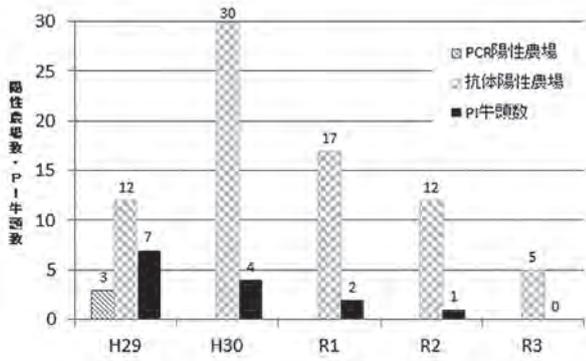


図3 BVDV検査結果（陽性農場数及びPI牛頭数）

農場バルク乳からのBVDV遺伝子検出では、平成29年から令和3年までの5年間で、初年度のみ3農場が遺伝子陽性となりPI牛4頭を特定しました。これらのPI牛の内訳は搾乳牛が3頭と育成牛1頭でした。

## 今後の展望

5年間のBVDスクリーニング検査により9戸14頭のPI牛を特定し、全て自主とう汰することでBVDVの清浄性を維持することができました。スクリーニング検査を継続することで県内の搾乳牛からPI牛が検出されなくなり、抗体陽性農場とPI牛頭数が年々減少する傾向がみられたことは、BVDVのまん延防止に一定の効果があったと考えられます。

家畜保健衛生所と関係機関が連携し、地域ぐるみでBVDV検査を継続していくことは、BVDのまん延を防止し、BVD感染による酪農家の経営損失を低減することが期待されますので、今後も年1回のBVD検査を継続してまいります。

## 第45回茨城県畜産常陸牛枝肉共励会

### 茨城県畜産農業協同組合連合会

令和3年9月26日（日）～28日（水）、東京都中央卸売市場食肉市場において「第45回茨城県畜産常陸牛枝肉共励会」を開催しました。本共励会は本会が主催し、茨城県・全国畜産農業協同組合連合会・東京食肉市場株式会社の後援を受け、常陸牛のブランド化及び生産農家の肥育技術向上等を目的として、昭和52年から毎年継続し開催しております。今回は、本会傘下の常陸牛指定生産者が丹精込めて飼育した黒毛和種の中から50頭を厳選して開催しました。また、今回も昨年同様に新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から食肉市場へ参加自粛をお願いせざるを得ない状況で、褒賞式も中止することとなり枝肉審査とセリ販売のみの開催となりました。

出品牛の内訳は去勢44頭・雌6頭、平均出荷月齢は31.1ヶ月齢でした。出品牛のうち48頭が常陸牛に格付けされ（上物率96%）、極上・特撰クラスといわれるBMSNo.10以上が33頭、

うち肉質最高位のBMSNo.12が14頭と最高の肉質が勢揃いした共励会となりました。良質で甲乙つけがたい枝肉が多く審査も難航しましたが、名誉賞には古河市の長島勝男氏、最優秀賞には（株）茨畜連パイロットファーム茨城町牧場の出品牛が選抜されました。特に名誉賞牛については、ロース芯が大きく迫力があるうえに万遍なく細かなサシの入った素晴らしい枝肉として、ほぼ満場一致で選出されました。新たな視点・今後の方向性を重視した本会独自の褒賞で



（左）斉藤会長 （右）長島様

ある「推奨牛」では、購買者ニーズとして体型・脂質・照り等によって良質牛選定が行われまし た。入賞牛の成績については、次のとおりです。

### 【入賞者名と成績】

褒賞	市町村名	出品者	性別	父	2代祖	3代祖	枝肉重量	BMSNo	ロース芯	バラ厚	単価	売上金額
名誉賞	古河市	長島 勝男	去勢	勝乃幸	安福久	白清85の3	619	12	117	8.5	3,087	1,910,853
最優秀賞	茨城町	(株)茨畜連PF 茨城町牧場	去勢	勝早桜5	百合茂	安福久	590	12	122	10.0	2,922	1,723,980
優秀賞1席	常総市	佐藤 宏弥	去勢	北国関7	安福久	百合茂	506	12	84	8.6	3,015	1,525,590
優秀賞2席	土浦市	(株)飯村畜産	雌	美国桜	幸紀雄	百合茂	411	12	63	7.7	3,127	1,285,197
優秀賞	境町	(株)シバサキ	去勢	勝早桜5	美国桜	勝忠平	591	12	95	9.2	2,806	1,658,346
〃	茨城町	市村あつ子	去勢	茂晴花	美国桜	白清85の3	534	11	79	9.2	2,890	1,543,260
〃	鉾田市	(株)茨畜連PF 鉾田牧場	去勢	勝早桜5	美津百合	安福久	628	12	98	9.5	2,688	1,688,064
〃	高萩市	(株)茨畜連PF 米平牧場	去勢	幸紀雄	美国桜	安福久	567	12	85	8.5	2,908	1,648,836
〃	茨城町	石崎 均	去勢	幸紀雄	美津照重	勝忠平	556	12	78	8.6	2,725	1,515,100
〃	鉾田市	(株)茨畜連PF 鉾田牧場	去勢	花国安福	安福久	勝忠平	534	12	94	10.9	2,883	1,539,522
推奨牛 (肉色・脂質)	茨城町	市村あつ子	去勢	光平栄	美津百合	勝忠平	477	12	84	7.6	2,648	1,263,096
〃 (体型・照り)	茨城町	(株)茨畜連PF 茨城町牧場	去勢	幸紀雄	安福久	百合茂	471	10	64	8.5	2,400	1,130,400



名誉賞枝肉断面

出品50頭の全体成績においては、平均枝肉重量が550kg(去勢564kg・雌454kg)と大型化しているだけでなく、平均BMS9.8、ロース芯79.9cm等と肉質良好な枝肉が揃った点も評価され平均販売金額139万円(昨年125万円)と高値取引につながりました。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により人や物の動きが止まり景気は急速に悪化、和牛高級部位の受け皿であった牛肉輸出とインバウンド需要も失われました。今年は前年同期と比較して回復傾向は見られるものの、期待されて

いた東京オリンピックも無観客での開催となり、外食産業や国外取引等も本来の状況には戻っておりません。景気回復を含めて和牛の消費活動が更に活発化することを期待しております。

以前から和牛肥育経営の大きな負担となっている素牛価格については、一時期の最高値相場からは下がったもののまだ安定経営できるレベルには至っておりません。常陸牛生産者が安心して経営を続けるためには、繁殖雌牛増頭により素牛価格が安定することや、肥育生産者が繁殖経営まで行う一貫経営化に進む事等が重要に

なってきました。現在、県を中心に進められている和牛繁殖雌牛の増頭に向けた取組みが、今後「茨城生まれ・茨城育ち」の常陸牛増産へとつながるよう、関係団体が一体となって取組みを強化することも重要と考えます。

また、和牛の脂はオリーブオイル同様にコレステロール減少・病気や老化の原因となる酸化の抑制・血圧降下等の効果が確認されており、効率的にオレイン酸を摂取できる「機能性食品」

でもあります。消費者の皆様にも、是非とも安心・安全・美味しく・健康にも良い「常陸牛」をたくさん食べていただきたく願っております。

最後になりましたが、本共励会を開催するにあたり、ご協力いただいた関係機関の皆様、審査をしていただいた諸先生方、出品された生産者の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

## 『国や大学など、さまざまな機関と連携して試験研究を行っています。』

### 茨城県畜産センター 企画情報室

畜産センターでは、茨城県の畜産行政の重点項目である「銘柄畜産物のブランド力強化と生産振興対策」、「環境にやさしい資源循環型畜産の実現」、「畜産技術の習得支援や人材育成」を3本の柱として試験研究を展開しており、行政機関をはじめ、国立研究開発法人並びに大学等の研究機関、関係団体、民間等と連携を図りながら取組を進めています。

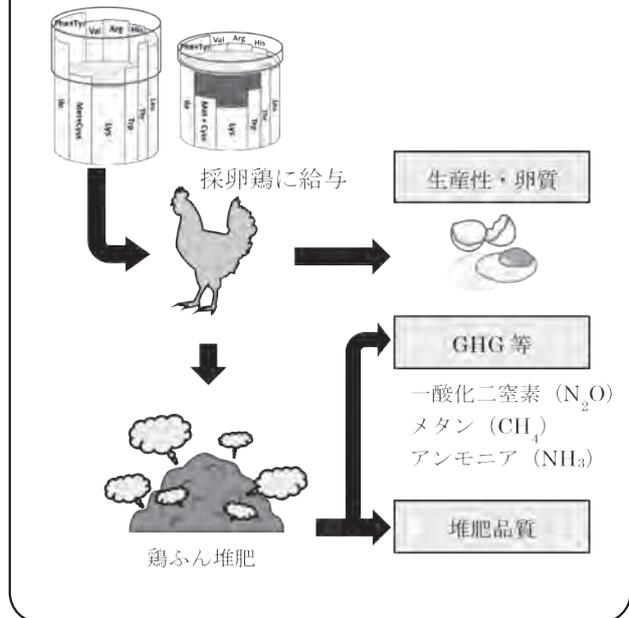
今回は、畜産分野における気候変動緩和技術の開発（気候変動緩和プロ）について、国立研究開発法人および畜産農家と連携した試験研究「排せつ物管理における温室効果ガス（GHG）を削減する採卵鶏飼料の研究開発」についてご紹介します。

#### 1 試験の概要

##### 畜産センター 生産技術研究室

茨城県は養鶏が盛んな県で、採卵鶏の飼育羽数と鶏卵生産量が日本一位であり、年間に約790tの鶏ふんが排出されていると概算されます。この排出された鶏ふんの処理法は二種類に大別され、強制通気攪拌発酵槽を用いた強制発酵法が約50%、鶏ふんを堆積し適宜切り返

【アミノ酸バランス改善飼料】  
必要なアミノ酸量のバランスを調整した低タンパク質飼料



しを行う堆積発酵法が約37%を占めています。（その他13%）しかし、採卵鶏における家畜排せつ物の管理のGHG排出係数は、一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）およびメタン（CH<sub>4</sub>）ともに堆積発酵法の方が高く、GHG削減対策においては堆積発酵法がより重要となります。

そこで本研究では、飼料添加用アミノ酸を添加し、飼料中のアミノ酸含量を調整した低タンパク質飼料を採卵鶏に給餌し、卵の生産性や卵質を調査しています。また、堆積発酵法による堆肥化過程で排出される温室効果ガスや、悪臭物質でもあるアンモニアの発生量と、堆肥の品質を調査しています。

## 2-1 気候変動緩和プロとは？

農研機構 畜産研究部門 野中氏

気温の上昇など気候変動の主要因とされる温室効果ガス（GHG）の排出量は、世界で年間490億ト（CO2換算）であり、そのうち5%はウシのゲップや排せつ物など家畜生産に起因すると言われています。日本の場合、家畜生産から約1%ですが、持続可能な食糧生産を続けるためにも、現状よりGHGを削減する重要性は変わりません。

「気候変動緩和プロ」は、農業分野から出てくるN2OやCH4を減らす技術を開発するプロジェクトであり、その中で畜産起源排出に関し「2013年度比20%削減」という目標を掲げ2017年に開始しました。①乳用牛、肉用牛、採卵鶏の排せつ物からのGHG低減、②ウシのゲップに含まれるCH4の低減、そして③開発された技術の導入による経営全体としての評価、これらを15の担当機関と連携し研究開発

に取り組んでいます。

## 2-2 連携体制の必要性について(同氏より)

開発された技術は、農家さんに使ってもらって初めて国内排出量の削減が実現しますが、農家さんにとって新しい技術の導入はハードルが高いです。研究機関だから成功したのでは？生産物が減ったらどうするんだ？という不安やリスクがあるからです。生産性の向上に直結しない環境保全的取組はなおさらです。このため、温室効果ガスの削減手法に取り組んだ成果を畜産経営に実感して頂く実証試験は非常に重要な連携と言えます。

## 3 実証試験を実施している農家さんより

古河市 関養鶏場 関氏

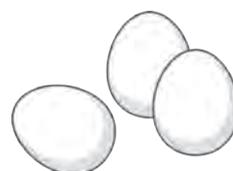
近年、地球温暖化対策について注目が高まっております。今後養鶏業界でも対応が必要となってくるのではと感じていました。今回、研究協力についてお話をいただいた際に、現在センターで実施している採卵鶏の試験データについて説明いただき、これは成果が出るのではと思い、実証試験に参加させてもらいました。この試験では温室効果ガスの削減だけではなく、鶏ふん堆肥の悪臭対策にもつながることから効果を期待しています。



## たまごの贈呈式

茨城県養鶏協会

茨城県養鶏協会（会長 鈴木憲一）は、たまごで応援しようをキャッチフレーズに、水戸ホーリーホックへ毎年千個を贈呈しております。去る11月10日、城里町小勝 七会町民センター「アツマーレ」において贈呈式を行い中山仁人選手に目録を贈呈しました。



# 高病原性鳥インフルエンザ等の 特定家畜伝染病防疫演習に参加して

10月11日、家畜保健衛生所から「渡り鳥の飛来シーズン到来!!」、韓国で野鳥の糞便からH5亜型の鳥インフルエンザウイルスが検出されたとの通知が届きました。

いよいよ「鳥フル」の流行期を迎えます。

茨城県は、高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）や豚熱（CSF）等の特定家畜伝染病の発生に備え、迅速かつ円滑な初動対応と的確な防疫措置を行えるように防疫演習を繰り返し実施してきました。今年度は、10月25日（県央地域）、26日（県西地域）、11月9日（県北地域）に開催されました。今回、県央地域の演習を紹介します。

県央地域の演習は、①HPAI、CSFの防疫措置の概要説明、②防護服等の着脱、防疫支援センターでの動員職員の受け入れ、発生農場での殺処分・梱包作業、消毒ポイントでの消毒作業の動画の視聴（写真1）、③豚の殺処分の模擬演習（写真2）が行われました。

防疫措置の説明では、防護服等に関し、これまで発生農場サポート拠点で配布していたマスク、手袋等は支援センターで配布すると説明がありました。これは、本県で2月にHPAIが発生した養鶏場で防疫措置中に雨に降られ、サポート拠点のテント内に保管していた資材が濡れてしまったという教訓から変更することになったそうです。サポート拠点の資材はできるだけ最小限にする。防疫措置の経験が活かされた例です。

豚の殺処分の模擬演習では、模型とはいえ繁殖豚と同じ大きさであって、豚が今にも動きそうなりアルさがありました。電殺機の鉗子を挟む位置、薬殺の方法、ワイヤーを使っての豚の移動方法が紹介されました。

HPAIは、4月以降のアジア（韓国、台湾、ベトナム等）、欧州（フランス、ポーランド、ドイツ等）での飼養家さんの発生や野鳥についても我が国に飛来する渡り鳥の営巣地があるロシア及び中国において広い範囲で確認されてい



写真1



写真2

ます。今シーズンもHPAIウイルスが我が国に侵入する可能性が高いことから、来春まで厳重な警戒が求められます。

CSFは、茨城県で飼養豚での発生はありませんが、CSF陽性野生イノシシは112頭（10月29日現在）確認されています。

防疫措置は、周辺農場へのウイルスのまん延を防止することが目的に行われます。家畜飼養者の皆様の毎日の健康観察と異常畜の早期発見・早期通報が重要です。

なお、県西地域の防疫演習の様子は、畜産協会HPの家畜衛生情報に紹介する予定です。

衛生課（獣医師：前田）

# がんばる! 畜産! 5

今、畜産業は担い手不足や国際化の進展など、大きな変化の局面にあります。そんな中、飼料を自ら生産したり、省力化を図ったりと、さまざまな工夫で素晴らしい経営を行っている生産者がたくさんいます。

このサイトでは、そうした各地の優れた畜産経営や、後継者の活躍、おいしくて安全な畜産物を消費者の方々に届けるまでを映像で紹介します。

この映像情報を生産者の方はもとより消費者の方々と共有することで、元気で健全な畜産の発展につなげることを目指しています。



## 畜産トレンド発見!

このコンテンツでは、生産現場での省力化技術や、飼料用米やエコフィードなどの活用による飼料コスト削減など、「技術」に着目して各地の事例を紹介します。

●配信中の内容●

牛の増頭に貢献する! 家畜改良事業団/総集編①地域と連携する畜産/総集編 畜産の最新研究・技術を見る  
ほか

## ドキュメント! 畜産の新主役たち

このコンテンツでは、畜産物の安全性確保や6次産業化の取り組み、女性、障がい者など多様な担い手の活躍を「人」に着目して紹介します。

●配信中の内容●

総集編①家族経営の畜産を見る/総集編 畜産の未来を拓く女性/豚の肉質を中心とした育種改良技術  
ほか

## なるほど! 畜産現場

このコンテンツでは、畜産物ができるまでや、現場を支える職人たち、馬事文化などあまり知られていない様々な畜産現場を紹介します。

●配信中の内容●

美味しい豚肉ができるまで(総集編)/鶏肉特集第1弾 江戸文化を受け継ぐ東京しゃもを大特集!/鶏肉特集第二弾! 我が国唯一の肉用鶏育種改良機関  
ほか

グリーンチャンネル  
でも放送中



## 「がんばる! 畜産! 5」

URL : <http://jlia.lin.gr.jp/ganbaruchikusan/>

(お問合せ先)

公益社団法人中央畜産会 経営支援部 (情報)

TEL : 03-6206-0846 FAX : 03-5289-0890



# 令和3年9月市況

## 子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
8	一般子豚	15	21,780	21,780	21,780	50
	ベビー豚	85	21,670	15,510	19,300	35
22	一般子豚	37	21,560	19,690	20,642	50
	ベビー豚	118	22,110	12,430	17,823	35

## 牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	78	886,600	294,800	628,777	293	2,146
		♂	0					
		去計	85	938,300	313,500	754,794	318	2,372
	経産	163	938,300	294,800	694,491	306	2,268	
F1	去計	♀	10	565,400	137,500	314,050	-	-
		♂	0					
		去計	0					

## 食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉；日曜、祭日を除く毎日							牛枝肉；毎週月曜日、木曜日			
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)							屠畜頭数	
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛	
豚	12,981.0	76.9	602	598	566	531	463	556	25,315	777.5	
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)			
和牛	A	226	260	462.4	2,519	2,232	2,005	670	-	2,296	
	B	19			2,285	1,943	1,684	1,198	-		
	C	15			-	-	1,046	1,093	850		
乳牛	A	0	221	300.6	-	-	-	-	-	587	
	B	22			-	-	859	744	664		
	C	199			-	-	731	658	510		
交雑牛	A	10	50	478.1	-	1,838	1,630	1,317	-	1,417	
	B	33			-	1,630	1,419	1,149	-		
	C	7			-	1,548	1,208	843	-		

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	28	935,000	426,800	621,971	272	2,286
		♂	0					
		去計	31	1,001,000	493,900	734,019	310	2,364
			59	1,001,000	426,800	680,844	292	2,330

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5、9、15、19、25、29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	5	122,100	5,500	69,520
		♂	122	137,500	1,100	101,903
		去計	0			
	子牛	♀	1	14,300	14,300	14,300
		♂	0			
		去計	1	14,300	14,300	14,300
1歳	♀	1	458,700	458,700	458,700	
	♂	0				
	去計	1	458,700	458,700	458,700	
F1	スモール	♀	59	234,300	49,500	162,651
		♂	73	298,100	88,000	192,470
		去計	0			
黒毛和種	スモール	♀	4	478,500	308,000	423,500
		♂	5	528,000	299,200	455,840
		去計	0			
	子牛	♀	9	528,000	299,200	441,467
		♂	2	594,000	396,000	495,000
		去計	2	554,400	520,300	537,350
子牛	♀	1	440,000	440,000	440,000	
	♂	1	440,000	440,000	440,000	
	去計	5	594,000	396,000	500,940	

## 肉用子牛生産者補給金発動状況

令和3年度第2四半期(2021年7～9月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円/頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平均売買価格	720,400	600,500	-	245,300	326,900
補給金単価	-	-	-	-	-

※「その他の肉専用種」については、令和2年度から算定期間を1年(4月～3月)としている。

# 令和3年10月市況

## 子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
6	一般子豚	39	20,020	16,610	18,249	50
	ベビー豚	148	17,490	5,720	13,554	35
20	一般子豚	23	16,500	15,730	16,199	50
	ベビー豚	163	14,850	10,560	13,270	35

## 牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	67	829,400	202,400	608,940	291	2,092
		♂	1	899,800	899,800	899,800	200	4,499
		去計	99	993,300	385,000	756,500	311	2,431
		計	167	993,300	202,400	698,157	302	2,308
	F1	経産	14	651,200	277,200	422,164	-	-
		♀	0					
		♂	0					
		去計	0					

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀						
		♂						
		去計						
		計						

開催なし

## 食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日										牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)								屠畜頭数									
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛										
豚	13,212.0	78.6	544	531	495	464	417	492	25,898	783.5										
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)												
和牛	A	189	210	477.3	2,606	2,335	1,994	1,242	-	2,427										
	B	13			2,187	1,818	1,759	1,187	-											
	C	8			-	-	-	1,089	790											
乳牛	A	0	190	304.6	-	-	-	-	-	532										
	B	6			-	-	-	656	616											
	C	184			-	-	757	608	478											
交雑牛	A	6	55	442.5	1,962	1,708	1,551	-	-	1,357										
	B	39			-	1,638	1,360	1,140	643											
	C	10			-	1,406	1,168	773	582											

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	畜種	年齢	性別	頭数	5、9、15、19、25、29		
					最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	去計	3	12,100	5,500	8,433
				129	190,300	9,900	105,259
				0			
	子牛	♀	去計	1	115,500	115,500	115,500
				0			
				1	165,000	165,000	165,000
	1歳	♀	去計	2	165,000	115,500	140,250
				0			
				5	498,300	276,100	432,080
				0			
F1	スモール	♀	去計	68	217,800	36,300	138,907
				81	270,600	29,700	174,873
				0			
	子牛	♀	去計	149	270,600	29,700	158,459
				1	88,000	88,000	88,000
				0			
				0			
				1	88,000	88,000	88,000
				7	526,900	418,000	462,000
				2	550,000	440,000	495,000
黒毛和種	♀	去計	0				
			9	550,000	418,000	469,333	
			2	661,100	440,000	550,550	
			6	552,200	410,300	492,067	
			1	352,000	352,000	352,000	
			9	661,100	352,000	489,500	
			1	330,000	330,000	330,000	
1歳	♀	去計	0				
			1	330,000	330,000	330,000	

## 牛マルキン発動状況

販売月	支払区分	肉専用種(茨城県)	交雑種	乳用種
令和3年9月	確定単価	34,106.4円	20,589.3円	35,327.7円
令和3年8月	確定単価	68,928.3円	61,515.0円	29,024.1円
	概算払単価	67,057.5円	60,016.8円	27,918.3円
令和3年7月	確定単価	8,063.1円	40,140.9円	33,510.6円
	概算払単価	4,018.8円	36,498.9円	29,957.7円

- ◆四半期の最終月以外については、交付金を概算払し、各四半期の最終月に確定単価で精算払をしています。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)また、消費税抜きで算定されています。
- ◆令和2年4月末日から令和3年5月末日までに負担金の納付期限を迎える登録肉用牛のうち、負担金の納付期限を猶予した登録肉用牛について、交付金の交付がある場合は、国費分のみ(4分の3相当額)の支払いとなります。(3品種とも)
- ◆令和2年3月末日までに負担金の納付期限を迎える登録肉用牛のうち、令和3年5月末日までに肉専用種の積立金が不足したため、令和3年4月以降に販売された登録肉用牛について、交付金の交付がある場合は、国費分のみ(4分の3相当額)の支払いとなります。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)畜産産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

# JA全農いばらきは酪農家の課題を解決する新しいカタチを提案します！ 個人と農家をつなぐプラットフォーム「農HOW」

全農茨城県本部 畜産課 小林 亮

茨城県の酪農家戸数は、2011年の約440戸から2021年の約280戸と、過去10年間で約160戸減少しており、そのほとんどが高齢化や後継者不足による廃業等が要因となっています。また、酪農業特有の労働時間の長さが後継者確保の妨げの1つにもなっています。

今回JAグループがご紹介する「農HOW」とは、生産者が必要な時に働き手を確保できるモバイルアプリ版農作業の人材マッチングアプリであり、次の様な特徴があります。

- ・全国どこでも農作業の仕事ができる！
- ・申込から給与支払いまでアプリ1つで完了！
- ・最短5分で求人募集～マッチング成立！

1日単位や数時間単位で仕事を見つけられるデイワークマッチングサービスである農HOWは、人手が欲しい生産者と空き時間を利用して働きたい働き手側の双方を繋げる、まさに働き方の「新しいカタチ」です。

JA全農いばらきでは、令和3年7月より県内JAや関係機関などに周知を開始し、働き手側のエントリー数は増えていますが、受け手側である生産者のエントリー数が圧倒的に少ない状況にあります。

酪農家の作業のうち、搾乳作業などは専門知識が必要ではありますが、牛舎の清掃や牛への餌やりは、生産者側が用意するマニュアルを確認することで可能な作業になります。このような農業体験を通して、酪農の良さや現場の雰囲気をも多くの若者をはじめとした働き手に知ってもらい、酪農に興味を持った人材の確保につながることを目指しています。

今後は、酪農家だけでなく畜産農家全体に農HOWが周知され、働き手の畜産業に対する理解を深めることで活用の幅が広がるように取組みます。

この機会に皆様もお気軽に登録してみませんか？ 登録作業は簡単です！

**個人と農家をつなぐプラットフォーム**

**農Howが画期的な理由！**

- 仕事選びから採用まですべてWEBで完了
- 応募した日に結果がわかる
- 作業マニュアルで仕事を事前に習得
- 給与は当日払い（ネット決済は別途確認）
- 相互評価システムでやる気アップ

**農Howでマッチング**

**主簿・シニア・学生・副業に**

あなたの悩み…

- 自分のペースで収入を増やしたい
- スキマ時間を活かしたい
- ゆとりをもって働きたい

あなたの自由な時間を有効活用してみませんか？

子育てや家事と仕事の両立も目指す方

**農家さん**

農家さんの問題

- 繁忙期には人手が足りない
- 広告を出しても人が集まらない
- 親戚くらいしかアテがない

こんな人を探しています

- ちょっとした期間だけ働きたい
- 年齢不問でやる気のある方
- 農業に興味がある方

**求人募集も無料です！**

- 求人広告をあきらめていた方に
- お金をかけずに募集したい方に
- わずかな時間で募集したい方に

スマホ1つで今すぐ利用できます！

スマホを使って、グーグルプレイ・アップルストアから「農How」で検索し、専用アプリをダウンロードして登録を行ってください。

※このサービスは、愛知県の株式会社アグリトリオが開発・運営するサービスです。

茨城県が誇る、極上の霜降り牛肉

# 常陸牛

振興協会

ひたちぎゅう

いばらきの高品質豚肉

# ローズポーク

茨城県銘柄豚振興会

事務局  
〒311-3155 東茨城郡茨城町下土師1950  
全国農業協同組合連合会 茨城県本部内  
TEL / 029-292-8004  
FAX / 029-292-7743

わたしたちは人と動物の「これから」を真剣に考えています

森久保薬品株式会社 茨城事業部  
下妻市亀崎4011-1 TEL/0296-43-1661  
FAX/0296-43-6509 フリーアクセスFAX/0120-436-509  
<http://www.morikubo.co.jp> <http://www.haccp.jp>

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL/029(231)7501 FAX/029(222)2032

- 当協会に対する意見・要望  
Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp
- 本紙への掲載「催事・各種情報」  
Eメール kobayashi-kenichi@ibaraki-lia.or.jp
- ホームページ  
<http://ibaraki.lin.gr.jp>